

はじめに



控訴人 福尾 健司

福尾健司と申します。小樽に生まれ、工学部衛生工学科卒、札幌市関係の団体職員として下水道分野で36年間勤務し、札幌市の環境を守る一端に関わってきました。

しかし、泊原発の再稼働が北海道の環境と人々の暮らしを壊してしまった恐れがあるという思いから、意見陳述人としてここにいます。

福尾健司と申します。小樽に生まれ、工学部衛生工学科卒、札幌市関係の団体職員として下水道分野で36年間勤務し、札幌市の環境を守る一端に関わってきました。

同じ日本海に面している泊原発はどうでしょう。沖合わずか15kmにも活断層が推定され、東傾斜の逆断層であり、泊原発の直下で地震が起きる可能性が指摘されています\*1)。

もしこれが泊原発の再稼働中に起きた場合、今世紀最大の大惨事になります。これから詳しく述べたいと思います。

泊原発は加圧水型で1次冷却系統は150気圧と言られています。これは水深1500mの水圧に圧力容器が耐えながら、その内部では循環ポンプの羽が回転して燃料棒の隙間を水が高速循環して、核分裂の熱エネルギーを奪い300度の熱を2次冷却水へ引き渡す仕組みになっています。もしこの直下や周辺で地震や隆起が起これ、1次冷却系統に1か所でもじ込め作業はできなくなり、原子水車等使った外部からの決死の封じ込め作業はできなくなり、原子炉内のメルトダウンは不可避です。それが泊原発3号機の核燃料貯蔵プールでのメルトダウン、停止中の1・2号炉の使用済み核燃料のメルトダウンへと続き、福島第一原発事故の数十倍もの放射能を搬入できず救命に時間がかかる惨状でした。

いため津波は1分程度で到達しました。そのため地域全体の建物やインフラは破壊され、道路はズタズタに寸断され、住民は孤立状態になり、周りから救助に入るも重機等を搬入できず救命に時間がかかる惨状でした。

仮に以上の事態を逃れたとしても、2次冷却系統は無事なのでしょうか？この系統はタービン建屋までつながっています。原発は原子炉建屋とタービン建屋がそれぞれ巨大ブロックでできており、地震や隆起ではこの間のパイプ類の破断や電気系統の断線等が生じます。その状態では緊急冷却装置が正常に働くのかもわかりません。

外部からの応援はどうでしょう。隆起では能登半島地震に見られた道路の破壊、土砂崩れ、停電等が起き、原発隣接の港さえ使用不能となりました。

そうなると福島第一原発での放射能が生じた場合、爆発的な破壊が生じることは容易に想像できます。老朽化し放射能で劣化した圧力容器では、超高压下でこれは一瞬で起こります。よって制御棒の挿入も間に合つか疑問です。

## 北電は政府の原発推進政策に従つてはならない

政府は昨年の国会で、通算最長60年間の原発稼働を可能としました。泊原発3号機はまだ3年しか稼働していません。つまり再稼働した場合、57年間運転が可能となります。さらにその後の使用済み核燃料の冷却期間が数十年続きます。この間に能登半島並みの地震が起らないと誰が言えるでしょう。それが万が一の確率であつたとしても、再稼働で引き起こされる人災は巨大であります。原発で電気を作り出す、ただそのことだけでは道民、ひいては全国民、未来の子供たち、日本の豊かな自然を破壊することだけは何としても避けなければなりません。

北電は民間企業であり、自らの発電事業の進め方を決めることができます。今まで泊原発に投じた資金とこれからも積みあがる安全対策費用や労力等は、採算が合うのでしょうか。

ほくでんの経営理念は、「人間尊重・地域への寄与・効率的経営」と持

「続可能な社会の実現」としていま  
すが、再度その意味を自らかみし  
めて頂きたい。そして、原子力部門  
からの撤退と泊原発の廃炉を決め  
るべきでしょう。

## 原発による発電を選択した実態

幸運にも、泊原発が無事故でそ  
の役目を終えたとしても巨大な  
問題を抱えています。

で

原子力産業全体を見てみると、  
その施設と発電で生み出した放  
射性廃棄物（以下、核ゴミ）の問題  
は世界のどの国も解決できない  
で

日本でも、核エネルギーを利用  
することで放射能汚染された50か  
所以上の原発施設や土地は、その  
後の有効活用や計画すらありま  
せん。おそらく数万年間は失われ  
た土地になるでしょう。さらに日  
本国政府は使用済み核燃料を再処  
理する道を選んだことから、これ  
に「もんじゅ」や六ヶ所村の再処  
理工場などが加わります。原発と  
再処理政策を進めることは、一方  
で貴重な国土の喪失拡大を意味  
するのです。

最も「大な核ゴミ」は福島第一原  
発事故が生み出したものです。  
この危険な核ゴミの量は、原子力  
委員会が試算した結果から導く

と、なんと、世界中の高レベル廃棄  
物の全量に匹敵します。<sup>2)</sup>

この福島原発事故の処理費用は  
23兆円に達し、さらに、見通しのな  
い六ヶ所村施設等の再処理に 18  
兆円、計 41兆円が使われたといわ  
れています。これらは原発を選択  
しなければ全く必要のない経費で  
した。これを電気料金に上乗せず  
ると、とてつもない金額になるの  
で、多くがそつと税金で賄つてい  
るのが実態です。もはや「原発は安  
い」は死語になりましたし、昨今の  
「原発が再稼働すると電気料金が  
安くなる」という言説は悪質なデ  
マです。

## 泊原発とそこから作られる 核ゴミは資源のブラックホール

北電は本来、発電施設の建設、  
売電、跡地等の再活用と廃棄物の  
適正処理の過程全体で利益を得  
ながらも、同時に社会の発展にも  
貢献するという大きな役割があ  
ります。

私が何よりも優先して原発に  
反対する理由はこのためです。ま  
してや、発電期間だけを見て「原  
発は『酸化炭素を排出しない、環  
境に良い』」の主張は論外です。

## 最後に

以上述べたことから、もし北電  
が泊原発の再稼働を行つた場合、  
それは原発に万が一の破局が起  
きても構わないと宣言するに等  
しい行為、とみなされるでしょう。  
さらに北海道を當々と築いて  
きた先人の努力とこれからの方  
に對する冒涜に等しく、道民と  
未来の子孫に對する人権と生存

の約2000倍もの期間、核ゴミ  
を環境から隔離する厳しい保管  
を、何の責任も恩恵もない子孫に  
強要する、まさに世代を超えた責  
任転嫁が生じるのです。発電後は  
核ゴミと保管施設の維持管理、  
補修・更新のため、あらゆる資材  
と電力を一方的に浪費し、労力  
と被ばくを発生し続けます。し  
かも10万年間！

従つて泊原発の再稼働は、得る  
ものより失うものが巨大過ぎる  
マイナス産業の復活であり、泊原  
発とそこから作られる核ゴミは  
資源のブラックホールそのもの、  
と私は考えます。

どうか憲法の精神に則り、北海  
道の未来に思いを馳せ、泊原発廃  
炉への一歩を踏み出せるよう、公  
正な審判を行うことを切に願い  
まして、私の意見陳述を終わりま  
す。

裁判長にお願いします。

どうか憲法の精神に則り、北海  
道の未来に思いを馳せ、泊原発廃  
炉への一歩を踏み出せるよう、公  
正な審判を行うことを切に願い  
まして、私の意見陳述を終わりま  
す。

## 参考資料

- \* 1) 泊原発の廃炉をめざす会  
ホームページ / 泊原発廃炉訴訟  
について / 意見陳述 / 小野有五  
氏
- \* 2) 泊原発の廃炉をめざす会  
ホームページ / 泊原発廃炉訴訟  
について / 意見陳述 / 小野有五  
氏
- ホーミュース / No.41・No.42 / 寄稿  
島原発事故、未来への負の遺産に  
ついて考える(1)(2) 福尾健司